



1989

IMSA DAYTONA
24 HOURS

夜遅く着いたマイアミ空港、ハーツのおねえさんがキーを渡しながら「車が故障しても車外には出ないでね」、尋ね返すと「夜はアリゲーターがクリークからよく出てくるから」。2月といってもフロリダは暖かいからかなあ。デイトナレースウィークの始まりには出端をくじかれたアドバイスだった。

IMSA シリーズラウンド 1、デイトナスピードウェイには GTP、GTO、GTU、CL (キャメル・ライト) の IMSA メインカテゴリーが 3 ケタに迫る数の大挙エントリー、2.5 マイルの超ハイスピード・オーバルにインフィールドコースを加えた 3.56 マイルを 24 時間先のビクトリーレーン目指して走り続ける。写真は 2 月 4 日土曜日、ローリングスタートにむかうピットレーンのフォーメーションを鳥の目で見てみた。

Competition Reminiscence

～思い出の一葉～

心震えるエグゾーストサウンド、コンパウンドの焦げる匂い……懐かしのコンペティションシーン。

文・写真／松本高好

松本高好 Takayoshi Matsumoto

フリーランス・フォトグラファー。WRC やルマン 24 時間レースなどハコ系モータースポーツシーンをフォローしている。最近のお気に入りには WTCC。ドラマチックな陰影や空気感のある作品に定評あり。